

〔デザインノート〕

渋谷駅模型：その展示方法と事例

田村 圭介

1. はじめに

東京のターミナル駅の空間構成とその更新履歴を二次元のドローイングや立体的な模型で視覚化する研究を行ってきた。これまでターミナル駅のケーススタディとして渋谷駅を主な研究対象としてきたが、一般の方々へ渋谷駅について理解を深めてもらうため積極的に出展し展示会を開いた。このデザインノートは、2010年から2014年の間に行った9回の渋谷駅についての展示会のうち、模型を使用した6つの展示会を取り上げ、その展示方法と表現について検証を行うものである。

2. ターミナル駅の複雑性 (complicatedness) と複合性 (complexity) について

ターミナル (terminal) が終端という意味を持つように、ターミナル駅とは本来頭端式ホームを持つ終着駅のことを意味するが、日本では通過式ホームを持つ複数の路線が乗り込む駅を「ターミナル駅」と呼ぶ。一連の研究は以下で説明する①複雑性と②複合性をその主眼としている。

2-1. 複雑性

ターミナル駅の空間構成はプラットホームの数による。プラットホームの数が1面であれば空間構成は単純であるが、2群となるとその連絡の仕方やラチ内外の扱い方が複雑になる。その複雑な空間構成について明らかにするのが複雑性である。また、各年代でその駅の形ができるが複雑性では基本的に現在の駅の形態を取り上げている。模型の表現方法は構内模型となる。

2-2. 複合性

ターミナル駅の複雑な空間構成は乗降者数の増加に伴う連絡通路の増加や新路線乗り入れに伴うプラットホームの新設等による。時代時代の要請に伴い駅が更新されていき、その履歴が複合的に重合し、現在の駅の空間構成がある。それを時間の堆積ともいう。複雑性はその時々におけるターミナル駅の共時的空間構成であるとするれば、複合性はその時にできている複雑な空間構成を時間の中で複合的に見るという通時的空間構成を意味している。模型の表現方法

は、外観変遷模型と構内変遷模型の2種類がある。

3. 6つの展示会における模型の配置について

渋谷駅は6つのプラットホーム群を持つ地上4階、地下5階の9層に及ぶ空間構成のターミナル駅である。展示会では上記の複雑性と複合性について、いかに展示するかを念頭に様々な模型配置の方法を試みてきた。以下では具体的に展示会を一つ一つ取り上げて見ていく。

3-1.

題名：うつりかわりー渋谷駅の変遷ー

イベント「Shibuya1000_002 URBAN EXPO 2010_ひとのまち渋谷へ。」に出展

会期：2010年3月13日～22日

場所：渋谷駅 地下 shibuya 1000 ホール

展示物：

- ・渋谷駅外観変遷模型 縮尺 1/1000×8個 (地形はスチレンボード、建物3Dモデル)
- ・説明パネル A1×8枚
- ・映像「渋谷駅のうつりかわり」

展示ホールの柱に乗降者数の変遷グラフを巻き付け、グラフの年数に対応した外観変遷模型を8個設置した。模型を円環配置とした。(図1)

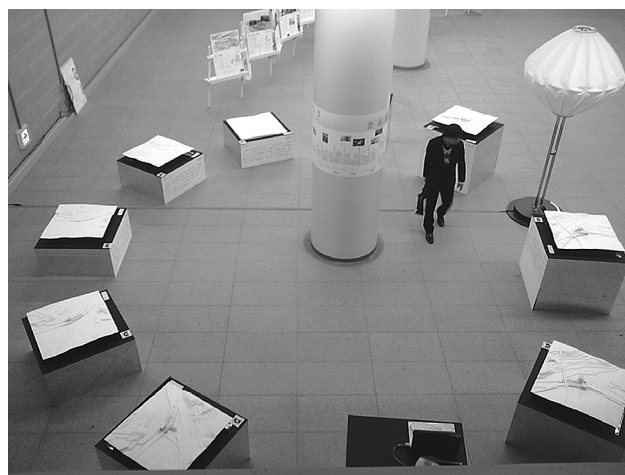


図1 柱周りに設置した変遷模型

3-2.

題名: うつりかわりー渋谷駅の変遷 2ー

イベント「Shibuya1000_003 URBAN EXPO 2011_ 変わりゆく渋谷, クリエイターたちがつくりだす 2011 年の風景。」に出展

会期: 2011 年 2 月 5 日~13 日

場所: 渋谷駅 地下 shibuya 1000 ホール

展示物:

- ・渋谷駅外観変遷模型 縮尺 1/4000×18 個 (3D モデル)
- ・説明パネル A4×18 枚
- ・映像「渋谷駅のうつりかわり」

展示ホールの一壁面に沿って 18 個の外観変遷模型を時系列順に並べた。(図 2)



図 2 展示ホール壁面に並ぶ変遷模型

3-3.

題名: 渋谷駅体展ーうつりかわり 渋谷駅の変遷ー

会期: 2011 年 4 月 14 日~6 月 9 日

場所: 渋谷マークシティ WEST 4 階 クリエーションスクエアしぶや

展示物:

- ・渋谷駅外観変遷模型 縮尺 1/1000×7 個 (地形はベニヤ, 建物は 3D モデル)
- ・渋谷駅外観変遷模型 縮尺 1/4000×24 個 (3D モデル)
- ・説明パネル A1×10 枚
- ・映像「渋谷駅のうつりかわり」

展示会場の中央に縮尺 1/1000 の外観変遷模型, 通路側(窓側)に縮尺 1/4000 の外観変遷模型を時系列順に直線状に 2 列並べた。(図 3)



図 3 時系列順に並ぶ 2 列の変遷模型

3-4.

題名: 渋谷駅体内展ー立体迷路 渋谷駅の解剖ー

会期: 2011 年 9 月 21 日~10 月 10 日

場所: 渋谷マークシティ WEST 4 階 クリエーションスクエアしぶや

展示物:

- ・渋谷駅構内変遷模型 縮尺 1/500 (高さ方向 2 倍, アクリル板, ベニヤをレーザーカッターで切り出し, ステンレスワイヤー)
- ・渋谷駅構内変遷模型 縮尺 1/1000×15 個 (アルミ板切り出し)
- ・映像「渋谷駅のうつりかわり」

会場内は軸線が強かったが, 構内変遷模型を点在させ, 天井から吊ることで会場内に浮遊感が生まれた。また, 壁面, 天井, 床に渋谷駅構内グラフを貼り, 展示室を一つの展示物として考えるインスタレーションとなった。(図 4)



図 4 天井から吊られた模型が会場内に点在している。

3-5.

題名: ダンダンしぶやー渋谷駅の変遷 3ー

イベント「Shibuya1000_005 変わりゆく渋谷。」に出展

会期: 2012年3月3日~11日

場所: 渋谷駅 14 番出口

展示物:

- ・渋谷駅外観変遷模型 縮尺 1/100×5 個 (ダンボール)
- ・渋谷駅外観変遷模型 縮尺 1/4000×23 個 (3Dモデル)



図7 渋谷駅変遷模型 2000 年: 東急プラザ渋谷 1 階

サテライト会場

- ・渋谷駅変遷模型 1934 年: OPENHOUSE [3/9-24]
- ・渋谷駅変遷模型 1964 年: 渋谷エクセルホテル東急・5 階ロビー内 [3/9-24]
- ・渋谷駅変遷模型 2000 年: 東急プラザ渋谷 1 階 [3/9-10]
- ・渋谷駅変遷模型 2012 年: 渋谷ヒカリエ 11 階 [3/9-21]
- ・渋谷駅変遷模型 2027 年: 渋谷ヒカリエ 4 階アーバンコア [3/9-24]
- ・渋谷駅変遷模型縮尺 1/4000: ウエマツ画材店 [3/9-24]

渋谷駅の変遷を、5 個の縮尺 1/100 外観変遷模型 と 23 個の縮尺 1/4000 の外観変遷模型で表現した。展示場所を渋谷駅の周辺にサテライト会場として散らし、模型のある 6 つの場所を回遊しながら、渋谷駅のうつりかわりを鑑賞できるようにした。(図 5~図 10)



図5 渋谷駅変遷模型 1934 年: OPENHOUSE



図6 渋谷駅変遷模型 1964 年: 渋谷エクセルホテル東急・5 階ロビー内



図8 渋谷駅変遷模型 2012 年: 渋谷ヒカリエ 11 階



図9 渋谷駅変遷模型 2027 年: 渋谷ヒカリエ 4 階アーバンコア

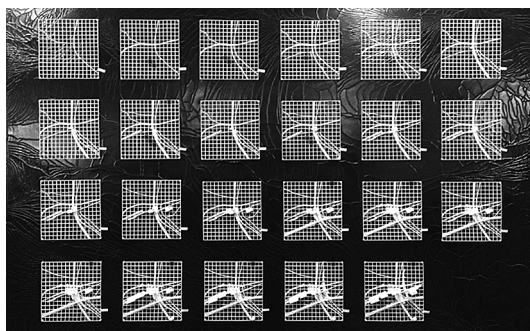


図10 渋谷駅変遷模型縮尺 1/4000: ウエマツ画材店

3-6.

題名: 渋谷駅体得展—1/100 模型で渋谷駅の世界を知る—

会期: 2013 年 8 月 3 日～25 日

場所: 渋谷マークシティ WEST 4 階 クリエーションスクエアしぶや

展示物:

- ・渋谷駅構内模型 縮尺 1/100 (高さ方向 2 倍, ベニヤをレーザーカッターで切り出し, スチール支え)
- ・説明パネル A1×5 枚
- ・映像「スクランブル交差点 2013 年 10 月 31 日」

複雑な渋谷駅の現在の姿を体感できるような構内模型を考え, 縮尺 1/100 のスケールの模型を制作した。そして, その複雑性を補完する形で, 複合性を説明するパネルを周囲に展示した。また, 参加型の体験ワークショップを企画し, テラダモケイの縮尺 1/100 の人間型模型を模型に配置するワークショップを 4 回行った。(図 11)



図 11 中央に設置された縮尺 1/100 の模型

4. 最後に

以下は示された二つの研究テーマ (①複雑性と②複合性) が各展示会においてどちらを指向したかを示す表である。

	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6
① 複雑性				○		○
② 複合性	○	○	○	○	○	
模型種類	外観	外観	外観	構内	外観	構内
模型配置	円環	直線	直線	散在	散在	中央

複合性の表現については, 模型配置によりその伝わるものが異なってくる。模型配置については表に示したように大きく三つの型に分かれる。時系列に円環状に模型を配置

する円環型, 時系列に直線状に模型を配置する直線型, ランダムに空間に模型を配置する散在型の三つである。円環型と直線型はリニアな時間を明確に示すことになり, 左右にある模型を比較することによりその更新について鑑賞することができる。円環型については, 最初の模型と最新の現在の模型を最後に比較することができるため, 直線型よりも一回分だけ多く, そして興味深く比較できることになる。そして, 会場の空間を作る際に, 直線型は強い軸性が生まれるが, 円環型では柔らかい空間が生まれることも分かった。散在型については複合性を示すよりは各時代の複雑性を明確化する表現となった。一つ一つの年代の模型を鑑賞できるが, 渋谷駅の更新過程である通時的な鑑賞, すなわち複合性の鑑賞ができない。

展示期間に, 変遷模型を鑑賞されている方々を見ていて気づいたのは, 多くの鑑賞者は隣り合う二つの模型の相違点を探し出し, その差異に気づくことに喜びを見出すことに終始していた点である。複合性の根底には, ある複雑な形態でもそれを分解していけば, 単純な形やモデルの組み合わせや重合によってその複雑性が解明できるという考え方があがるが, 実際にはこれまでの 9 回ほどの展示会ではそれが伝わっていないように思われる。次なるステップとしては, 外観模型よりむしろ, より内部に焦点をあて, 構内の空間構成が理解されやすいように構内変遷模型の直線型の展示を試みるなど, 単純な空間のメカニズムが理解される展示法を考えることが課題である。



図 12 複雑性

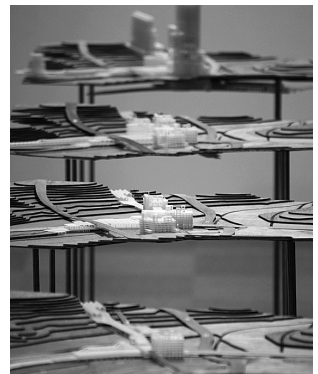


図 13 複合性

(たむら けいすけ 環境デザイン学科)